

会議議事録

会議名	令和2年度 第2回 教育課程編成委員会
開催日時	令和3年2月18日（木曜日） 10:30～11:50
場所	本校3階 図書室
出席者	<p>1)外部委員</p> <p style="padding-left: 40px;">一般社団法人広島県歯科技工士会 会長 松井 哲也</p> <p style="padding-left: 40px;">株式会社 愛歯 広島営業所 所長 吉富 嘉朗</p> <p>2)学内委員</p> <p style="padding-left: 40px;">学校長 新谷 英章</p> <p style="padding-left: 40px;">教務主任 宮田 和彦</p> <p style="padding-left: 40px;">教務副主任 木村 卓也</p>
<p>【議事進行状況及び討議内容】</p> <p>1. 10時30分定刻に木村卓也教務副主任が開会を告げ、当委員5名の出席を確認後、引き続き新谷英章校長の挨拶があった。</p> <p>2. 議長の選出は、当委員会実施規程により新谷英章校長が議長となり協議に入った。</p> <p>3. 議題</p> <p>1)第1回会議の提言と対策</p> <p style="padding-left: 20px;">宮田和彦教務主任から、第1回会議の提言と対策の報告があった。</p> <p style="padding-left: 40px;">尚、提言と対策は別紙の通りである。</p> <p>2)後期授業の経過報告</p> <p style="padding-left: 20px;">宮田和彦教務主任から、2020年度 授業実施計画表について、新型コロナウイルス感染予防の為、4月中旬から5月末日まで休校を余儀なくされ、授業計画を修正したが、当初の計画通りに授業は進行している旨の報告があった。</p> <p style="padding-left: 40px;">また、前期実施予定であった「情報リテラシー」「コミュニケーション学」の講義は、後期に実施したとの報告があった。</p> <p style="padding-left: 40px;">尚、2020年度 授業実施計画表（資料1）は、別紙の通りである。</p> <p>3)意見交換</p> <p style="padding-left: 20px;">後期授業の経過報告及び学校への要望について、及び、臨床現場から見たCAD/CAMの現状等について意見交換が行われた。</p> <p style="padding-left: 40px;">尚、意見交換（討議内容）の詳細は別紙のとおりである。</p> <p>4)令和3年度事業計画について</p> <p style="padding-left: 20px;">協議の結果、事業計画を以下の通り決めた。</p> <p>①委員会の開催</p> <p style="padding-left: 40px;">以下の通り日程が決まった。</p> <p style="padding-left: 60px;">*第1回 令和3年6月（木曜日）午前10時30分～</p> <p style="padding-left: 60px;">*第2回 令和4年2月（木曜日）午前10時30分～</p> <p>②議事録の作成</p> <p>③歯科技工所へのアンケートの実施</p> <p style="padding-left: 20px;">*対象者及び対象技工所</p> <p style="padding-left: 40px;">就職後1年の本校卒業生について、その勤務先の代表者にアンケートを依頼する。</p> <p style="padding-left: 40px;">*アンケートの内容については、別紙の通りである。</p>	

4. その他

次回の会議日程及び会場を決めて11時50分閉会した。

*日程 令和3年6月（木曜日）午前10時30分～（詳細は後日調整する。）

*会場 本校3階 図書室

以上

第2回 教育課程編成委員会 討議内容

議題1. 第1回会議での提言と対策について、報告し再確認した。

①金合金の鋳造に使用する機器について

(現状) 本校では、遠心鋳造機（ガスと圧縮空気を熱源）を使用している。

(提言) *ほとんどの技工所では、この方法は使用していない。（銀合金には使用している）
ヒーター熱方式真空加圧鋳造機を使用していて、その鋳造精度や表面性状が良好とのことなので、本校でも整備を勧めたい。

(対策) *遠心鋳造機は教育上、必要ですので継続したい。

*今後、ヒーター加熱方式真空加圧鋳造機の整備を検討したいと思います。

②CAD/CAM 実習について

(現状) 2学年の実習で一回、臼歯の単冠製作をスキャニングから設計、ワックス加工までを行っている。

本校には、加工機が整備されていないので、メーカーの持込みで行っている。

(提言) 実習時間が少ないように思うので、授業時間以外でも学生が自由に使える環境にされる方が良いと思います。

(対策) デジタル化が進み、広範囲の部位が保険適用となっており、実習時間等を増やす必要があると考えています。

③企業と連携した授業について

(現状) 令和3年1月と2月に技工所3社と連携した授業を学内で実施しました。

尚、学外での実習（インターンシップ等）は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から断念しました。

(対策) 新型コロナウイルスの感染が終息し、受け入れが再開すれば実施したいと思っています。

④企業側から学校に対して求めることについて

(提言) 労働環境、法規等の知識の教育は大切です。労使双方が正しい知識をもつ事により良い関係を築いていけると思います。

(対策) 労働局、税務署等からの出張授業を活用し、労働法あるいは税に関する授業を検討したい。

(提言) 学校で整理・整頓・清掃を身につける教育は、就職先の環境が悪い場合に改善の提案もできるので、継続して欲しい。

(対策) 整理・整頓・清掃は技工士としても基本と思っているので、引き続き指導していきたい。

⑤歯型彫刻の反復練習について

(提言) 基本をしっかりと身に付けることが大切ですし、技術の習得スキルを高めることにもなるので継続して欲しい。

(対策) 今年度より、1年での彫刻時間を増やしました、更に、歯のスケッチの時間を設けて実施しています。

⑥学校施設、設備を見学して

(提言) 整理・整頓・清掃等の指導に力を入れられていることが感じられました。

歯科医療に携わる職種であり、学生の時からこのような環境にあるのは素晴らしいと思うので、継続して欲しい。

(対策) 整理・整頓・清掃は技工士として基本と思っているので、引き続き指導していきたい。

議題2. 後期授業の経過報告

1) 「2020年度 授業実施計画表」を示し、新型コロナウイルスの感染予防の為に、4月中旬～5月末日まで臨時休校にした経緯と、前期に行う予定だった「情報リテラシー」「コミュニケーション学」を後期に実施したこと等、授業実施計画表を修正した旨が報告された。

(資料1を参照)

2) 実習授業課題一覧表(1学年、2学年)を示し、表のとおり実施した旨が報告された。

(資料2を参照)

議題3. 意見交換

後期授業の経過報告、学校への要望、臨床現場から見たCAD/CAMの現状等について、意見交換を行ったので、以下に記述する。

松井委員 専門用語の中に、歯科技工士教本と臨床現場(保険表記)で表記が違うものがあり、混乱するので共通できないでしょうか。臨床に入って、通じないこともあるので、学校で教えておいていただければ、理解しやすいと思います。

例) 1級インレーは単純インレー、2級インレーは複雑インレーのように、保険表記に準じた方が良いのではないかと思います。

但し、保険上の表記も変更があるので、一概に教本を変えることもできないかもしれません。

事務局 5月の全国歯科技工士教育協議会の総会に提案したいと思います。本校でも講義の中で教えたいと思います。

吉富委員 国家試験後の授業はどのようになっていますか。

事務局 補講が残っている学生は登校しますが、基本的には卒業式まで休みです。

吉富委員 就職先から、入社までに何か技術的な準備をしておくような要望等がありますか。

企業によって色々考え方がありますが、就職までの時間の使い方が大切だと思います。アルバイトでも良いですし、研修や職業体験を受け入れてくれる企業もありますので、今後のプラスになるので、活用されたら良いと思います。

事務局 卒業旅行に行ったり最後の学生生活を満喫しているようです。或いは、4月から勤務する技工所で、卒業式直後から技工のアルバイトをしている学生もいるようです。卒業式後の時間の使い方には様々ありますが、卒業後は強制できないので、就職先の方針に任せるしかありません。

事務局 臨床現場から見たCAD/CAMの現状(新人教育、クラウン製作の割合、使用機種、推奨機種等)についてご教示ください。

松井委員 当社の新人教育は、インレー、ポスト コア等の手作業から入ります。その後も、いき

なりデザインに入るのではなくて、加工した物の調整や数値的なものがどのように完成に至るか等を勉強したうえで、デザインをすることになります。

吉富委員 CAD/CAM教育に関して一番力を入れているのは彫刻です。新人もベテランも天然歯模型を見本に彫刻の練習をしています。

また、休日には技術研修として、全営業所をテレビで繋げて、ベテランの技工士が講師となって研修をしています。

新人は模型作製から入り、1年の作業工程の中でCAD/CAMを覚えていきます。

事務局 クラウン製作においてCAD/CAMの割合はどの位でしょうか。

松井委員 クラウンは全てCAD/CAMで作製しています。

吉富委員 仕事の割合ですが、9割はCAD/CAMで作製しています。

事務局 どのメーカーの機種を使用されていますか。

松井委員 加工機は「ジーシー社」、スキャナーは3シェープのD2000です。

吉富委員 加工機は「ジーシー社」が多いです。

事務局 推奨機種はありますか。

松井委員 生産性についてはどの機種も変わらないと思います。現在は、スキャンから加工までの前後の生産性を上げられるかを考えています。

今後は、口腔内スキャンに対応することも考えていく必要があると思います。訪問診療でのデータが技工所へ送られ、技工所に居ながら技工物の製作ができるようになるでしょう。

また、女性に限らず在宅で技工ができるようになること等を学校教育で教える時が来ると思います。

吉富委員 多くの種類がありますが、機能による差はないと思います。広島では加工機は「ジーシー社」が多いですかね。

松井委員 現在、広島の技工所では、「ジーシー社」の加工機を使用しているのは5社あります。今後は、平行性の無い支台でも削れる他社の5軸の加工機に変えたいと思っています。

また、クラスプ、基礎床は3Dプリンターを用いて作製しています。クラウンの作製も出来るものが出てきています。

吉富委員 本社では、3Dプリンターを使用しています。

事務局 デジタル化により、今後は大きく技工物の製作等が変わるので、設備の整備が必要ですね。

チタン鑄造はどうですか。

松井委員 行っていません。広島では1社あります。

吉富委員 稀にあります。

事務局 有難うございました。

以上